

## 【全体設計】ワークショップ『ごみゼロ生活に挑戦』

(1) コンセプト	ワークショップ『ごみゼロ生活に挑戦』は、ごみ問題を体感しながら学習できる、小学生向けのワークショップです。自分が暮らす家庭から出るごみを子どもたち自らが計測し、ごみを減らすアイデアを考え、「ごみゼロ生活」に挑戦します。ごみ問題という身近な「社会」的テーマを扱いながら、実際にデータを計測して分析するという「理科」的な力や、計測したデータ（数値）を整理して表やグラフにまとめる「算数」的な力を鍛えることができる「教科横断型プログラム」です。
(2) 全体のゴール	①身の回りのごみに関心を持つようになる（Will） ②事実を正確に計測して分析する力が身につく（Can） ③自ら行動を起こして問題解決する姿勢が身につく（Can）
(3) 主に育まれる力	【思考力】情報を整理して把握し、規則性や関連性を見出す力 【挑戦力】未知・未経験のことであっても、自分から行動しはじめる力
(4) ファシリテーターのスタンス	▶【ワクワク】このWSは、とにかく「やってみる」ことが大切です。ファシリテーターが自ら楽しみ、「ごみゼロ生活に挑戦したい」という空気感を作るよう心がけましょう。 ▶【傾聴的】チーム内での共有・議論が多いWSであるため、生徒一人ひとりの意見をじっくり聞いた上で、「問いかけ」や「フィードバック」を行うよう努めましょう。

### (5) プログラム構成

開催回	テーマ	取り組み内容	重点ポイント
day1	<b>ごみについて知る</b> 身の回りのごみに関心を持とう！	・ごみの種類と特徴を考える ・自分たちが出しているごみの量を計測する	身の回りのごみについて関心を持つ
day2	<b>ごみゼロ生活に挑戦する①</b> 「モノのごみ」を削減しよう！	・家庭で計測したごみの量をグラフ化する ・「モノのごみ」を削減するアイデアを考える	計測したデータを整理して分析・評価する／
day3	<b>ごみゼロ生活に挑戦する②</b> 「生ごみ」を削減しよう！	・「モノのごみ」削減量をグラフ化し、分析する ・「生ごみ」を削減するアイデアを考える	自ら行動を起こして未知の取り組みに挑戦する
day4	<b>ごみゼロアイデア発表会</b> ベストアイデアを磨こう！	・「生ごみ」削減量をグラフ化し、分析する ・「ごみ削減」のベストアイデアを整理する	問題解決のためのアイデアを整理してまとめる

### (6) 準備物リスト

No.	準備物	day1	day2	day3	day4
1	サインペン	1本/人+予備	1本/人+予備	1本/人+予備	1本/人+予備
2	付箋（コメントが書ける大きさ/複数色あると◎）	単色1束/島+予備	各色1束/島+予備	各色1束/島+予備	各色1束/島+予備
3	ごみ（教室で出たものを残しておく）	適量（多いと◎）	—	—	—
4	水性マジック（黒・青・赤）	1束/島+予備	—	—	—
5	模造紙（60cm×90cm以上）	2枚/島+予備	—	—	—
6	カラーペン/色鉛筆など	—	—	—	適量（多いと◎）
7	A3白紙（『5枚の紙芝居』用）	—	—	—	5枚/人+予備
8	『ごみ予測シート（自分の家で多そうなおみBEST3）』	1枚/人+予備	—	—	—
9	『ごみ予測シート詳細（1週間分の家庭ごみ）』	1枚/人+予備	—	—	—
10	『ごみ計測シート（1週間分の家庭ごみ）』	1枚/人+予備	1枚/人+予備	1枚/人+予備	—
11	『ふりかえりシート』	1枚/人+予備	予備（忘れ物）	予備（忘れ物）	予備（忘れ物）
12	『ごみ分析シート①（1週間分の家庭ごみ）』	—	1枚/人+予備	—	—
13	『ごみゼロ アイデアシート』	—	1枚/人+予備	1枚/人+予備	—
14	『ごみ分析シート②（1週間分の家庭ごみ）』	—	—	1枚/人+予備	1枚/人+予備
15	スピーカー	1台	—	—	—